

◆【全国発信記事】小名浜支部 練習船「福島丸」が一般公開

いわき市の名勝=勿来の関・湯ノ岳

澄んだ青空が広がる7月3日、福島県立小名浜海星高等学校の練習船「福島丸」（665総トン）が、いわき市小名浜港で一般公開された。

小名浜海星高等学校は、水産系の「旧いわき海星高等学校」と普通科・商業科系の「旧小名浜高等学校」が今年の4月に統合して開校し、新たな学校名「福島県立小名浜海星高等学校」となったもの。

「福島丸」の一般公開は、新型コロナウイルス感染症対策を講じて開催された。本船内部の見学と併せ、岸壁に設置されたテントでは、生徒たちが見学を訪れた人に、マグロはえ縄の操業や乗船実習中の写真などを使い、実習の内容を丁寧に説明した。

遠洋航海を行う練習船、6代目「福島丸」は、宮城県石巻市の造船所で建造され、実習生が学ぶ環境も向上し、電子海図をはじめとする最新の航海機器などが装備されている。船内居住区も、船員や実習生の部屋のスペースを広く確保し、女性実習生の乗船を考慮し専用の部屋・浴室を設けている。また、実習中の安全面にも十分に配慮し、船内監視用カメラ13台を装備、事故防止に努めている。

「海員だより」